

## 平成21年度全国学力・学習状況調査

# 京都府における結果の概要

### I 実施概要

1 実施日 平成21年4月21日(火)

2 実施学年 小学校第6学年・中学校第3学年

### 3 実施教科等

(1) 教科に関する調査

- ・主として「知識」に関する問題（国語A、算数・数学A）
- ・主として「活用」に関する問題（国語B、算数・数学B）

(2) 児童・生徒質問紙調査

(3) 学校質問紙調査

### 4 実施学校数・参加児童生徒数

(1) 小学校

小学校は府内427校全てが4月21日に調査を実施

(2) 中学校

中学校については、府内178校の内、171校が4月21日に調査を実施

残り7校については、4月22日以降に実施（調査集計には含まれない。）

表1 調査実施校数・児童生徒数（全国・京都府とも公立学校）

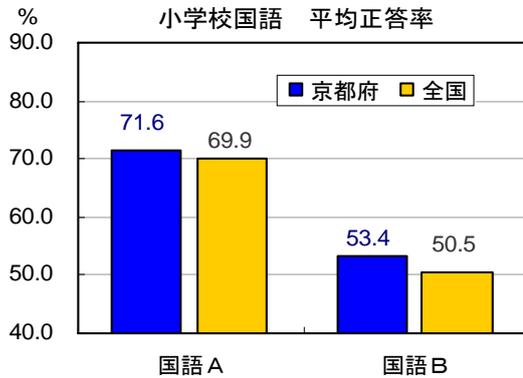
		対象学校数	実施学校数（実施率）		児童生徒数
小学校	全国	21,527校	21,482校	99.8%	1,137,844人
	京都府	427校	427校	100.0%	21,865人
中学校	全国	10,171校	9,851校	96.9%	1,033,909人
	京都府	178校	171校	96.1%	18,953人

※ 学校数には特別支援学校（小学部3校、中学部3校）分を含む。

## II 教科に関する調査結果の概要

### 1 小学校の概要

#### (1) 国語



#### (2) 算数

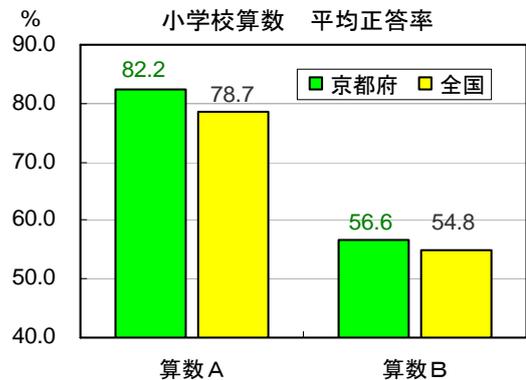


表2 小学校 平均正答率（京都府・全国とも公立学校）

教科等	国 語				算 数			
	A「知識」		B「活用」		A「知識」		B「活用」	
	京都府	全国	京都府	全国	京都府	全国	京都府	全国
21年度	71.6	69.9	53.4	50.5	82.2	78.7	56.6	54.8
20年度	68.4	65.4	53.7	50.5	75.3	72.2	53.3	51.6
19年度	82.8	81.7	64.0	62.0	85.3	82.1	66.4	63.6

○ 国語、算数とも平均正答率が全国水準を上回っています。

#### (3) 標準化した平均正答率の推移

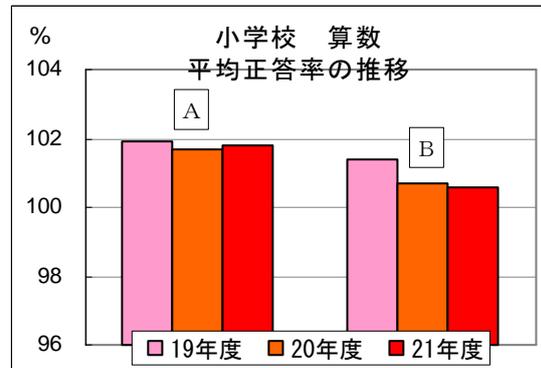
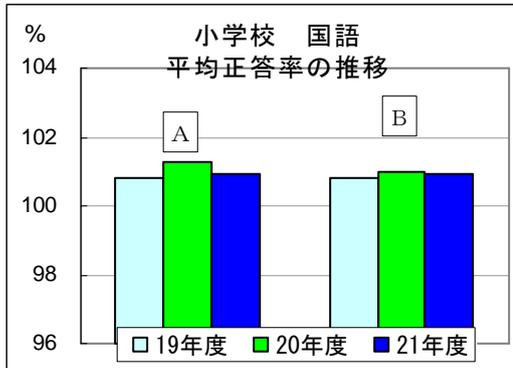


表3 小学校 平均正答率の推移（京都府・全国とも公立学校）

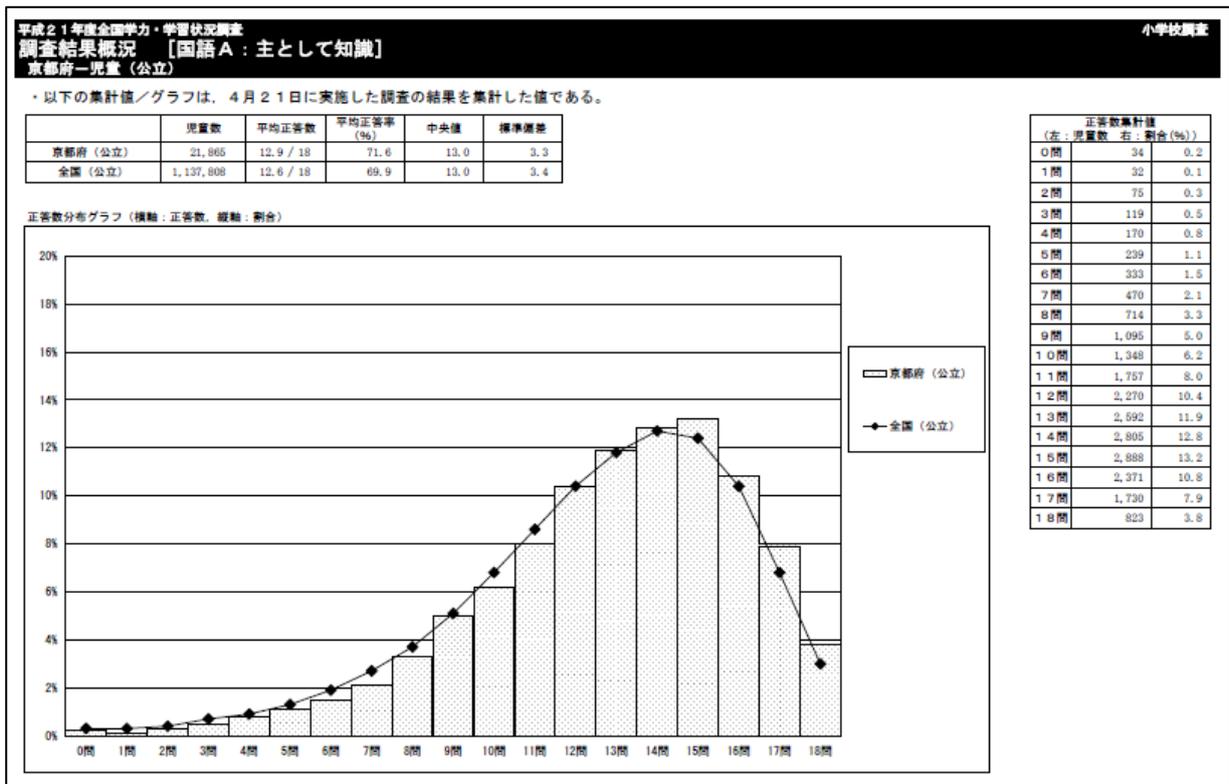
教科等	国 語		算 数	
	A 知識	B 活用	A 知識	B 活用
21年度	100.9	100.9	101.8	100.6
20年度	101.3	101.0	101.7	100.7
19年度	100.8	100.8	101.9	101.4

#### 標準化した平均正答率とは

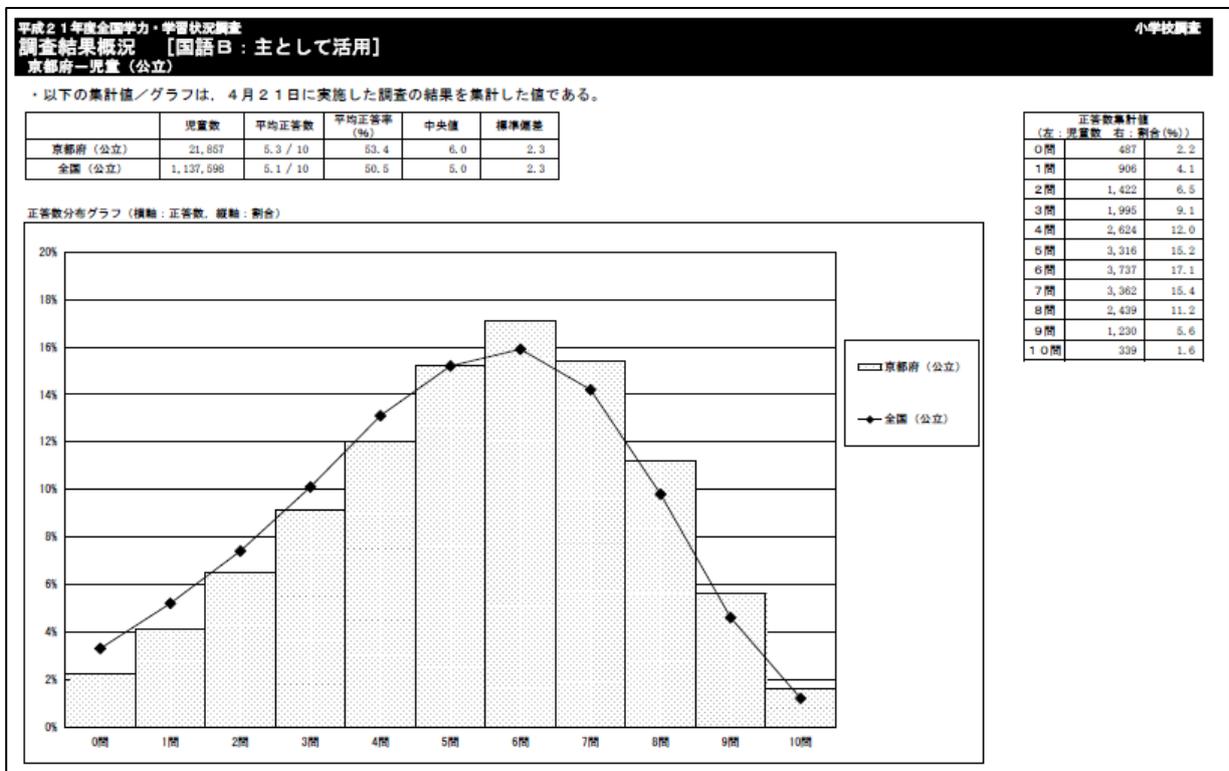
平均正答率の推移を比較するため、全国の平均正答率を100とし、標準化したもの。

- 京都府の標準化した平均正答率は、100を超えています。
- 標準化した平均正答率の推移は、3年間で±0.8の範囲内にあり、大きな変動はありません。

# ア 国語A



# イ 国語B



## ウ 算数A

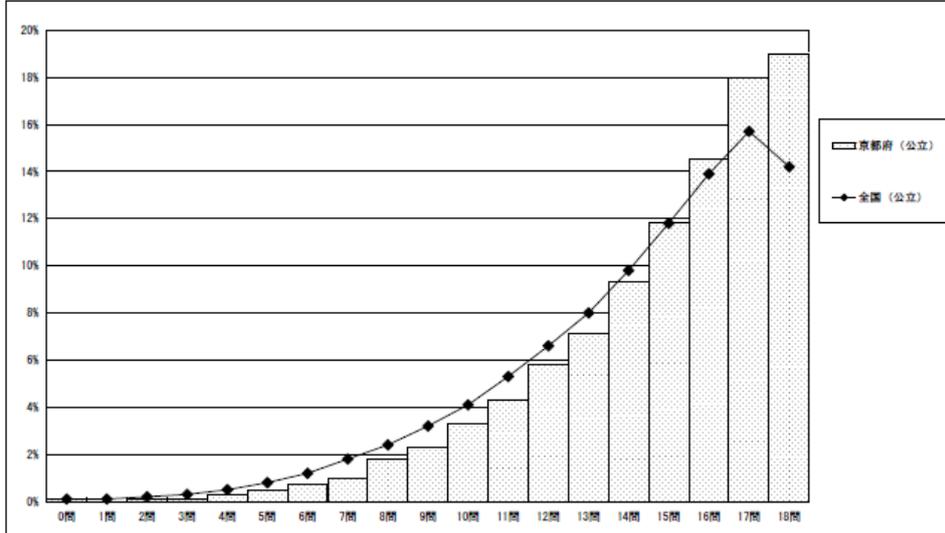
平成21年度全国学力・学習状況調査  
調査結果概況 【算数A：主として知識】  
京都府一児童（公立） 小学校調査

以下の集計値／グラフは、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
京都府（公立）	21,865	14.8 / 18	82.2	16.0	3.1
全国（公立）	1,137,844	14.2 / 18	78.7	15.0	3.4

正答数集計値		
左：児童数	右：割合 (%)	
0問	19	0.1
1問	9	0.0
2問	15	0.1
3問	31	0.1
4問	76	0.3
5問	110	0.5
6問	148	0.7
7問	223	1.0
8問	388	1.8
9問	498	2.3
10問	717	3.3
11問	947	4.3
12問	1,270	5.8
13問	1,555	7.1
14問	2,026	9.3
15問	2,584	11.8
16問	3,165	14.5
17問	3,933	18.0
18問	4,151	19.0

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



## エ 算数B

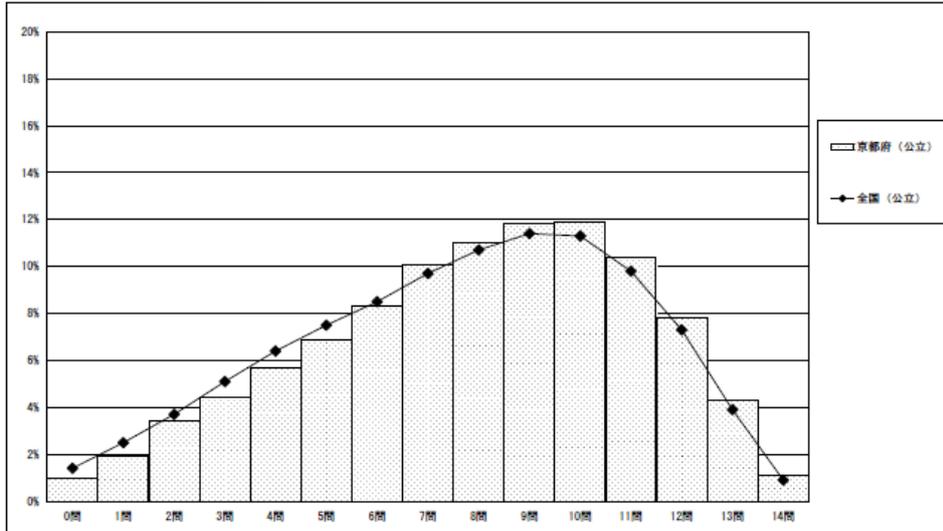
平成21年度全国学力・学習状況調査  
調査結果概況 【算数B：主として活用】  
京都府一児童（公立） 小学校調査

以下の集計値／グラフは、4月21日に実施した調査の結果を集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
京都府（公立）	21,857	7.9 / 14	56.6	8.0	3.2
全国（公立）	1,137,624	7.7 / 14	54.8	8.0	3.3

正答数集計値		
左：児童数	右：割合 (%)	
0問	223	1.0
1問	423	1.9
2問	734	3.4
3問	960	4.4
4問	1,240	5.7
5問	1,503	6.9
6問	1,811	8.3
7問	2,214	10.1
8問	2,398	11.0
9問	2,586	11.8
10問	2,603	11.9
11問	2,279	10.4
12問	1,715	7.8
13問	937	4.3
14問	231	1.1

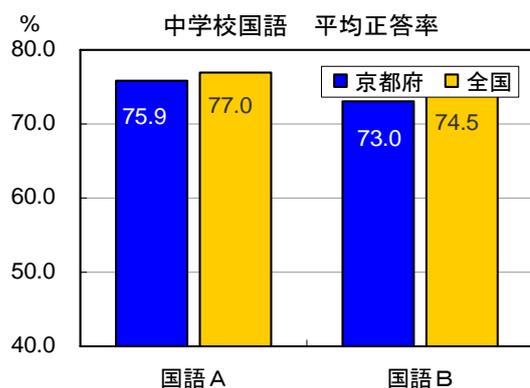
正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



すべての教科で課題のある児童の層が全国に比べて少なく、正答数の多い児童の層が全国に比べて多い状況です。

## 2 中学校の概要

### (1) 国語



### (2) 数学

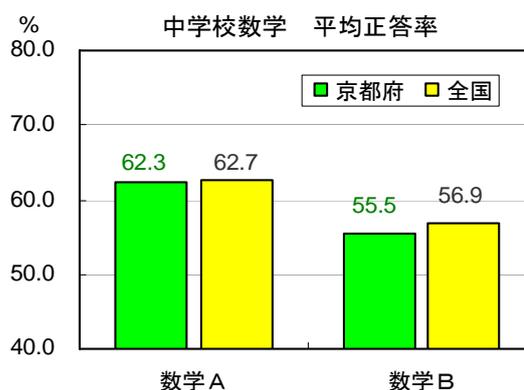


表4 中学校 平均正答率（京都府・全国とも公立学校）

教科等	国語				数学			
	A「知識」		B「活用」		A「知識」		B「活用」	
	京都府	全国	京都府	全国	京都府	全国	京都府	全国
21年度	75.9	77.0	73.0	74.5	62.3	62.7	55.5	56.9
20年度	73.5	73.6	61.0	60.8	64.1	63.1	49.5	49.2
19年度	81.4	81.6	72.0	72.0	72.8	71.9	61.2	60.6

○ 国語、数学とも平均正答率が全国水準をやや下回っています。

### (3) 標準化した平均正答率の推移

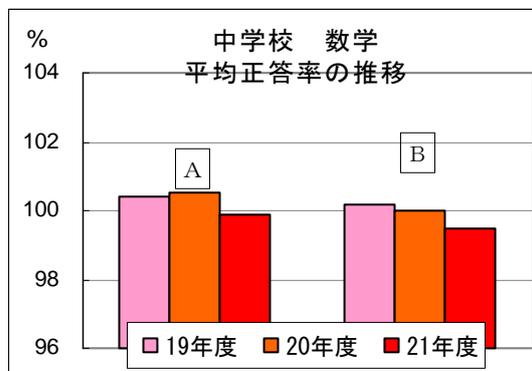
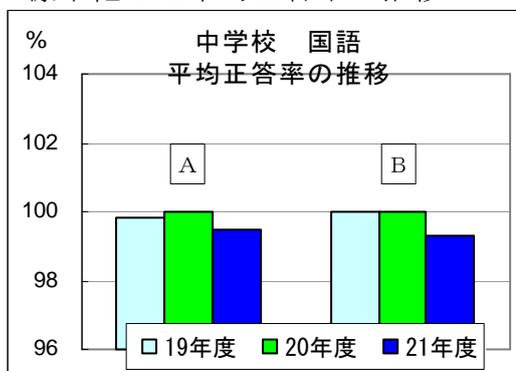


表4 中学校 平均正答率の推移（京都府・全国とも公立学校）

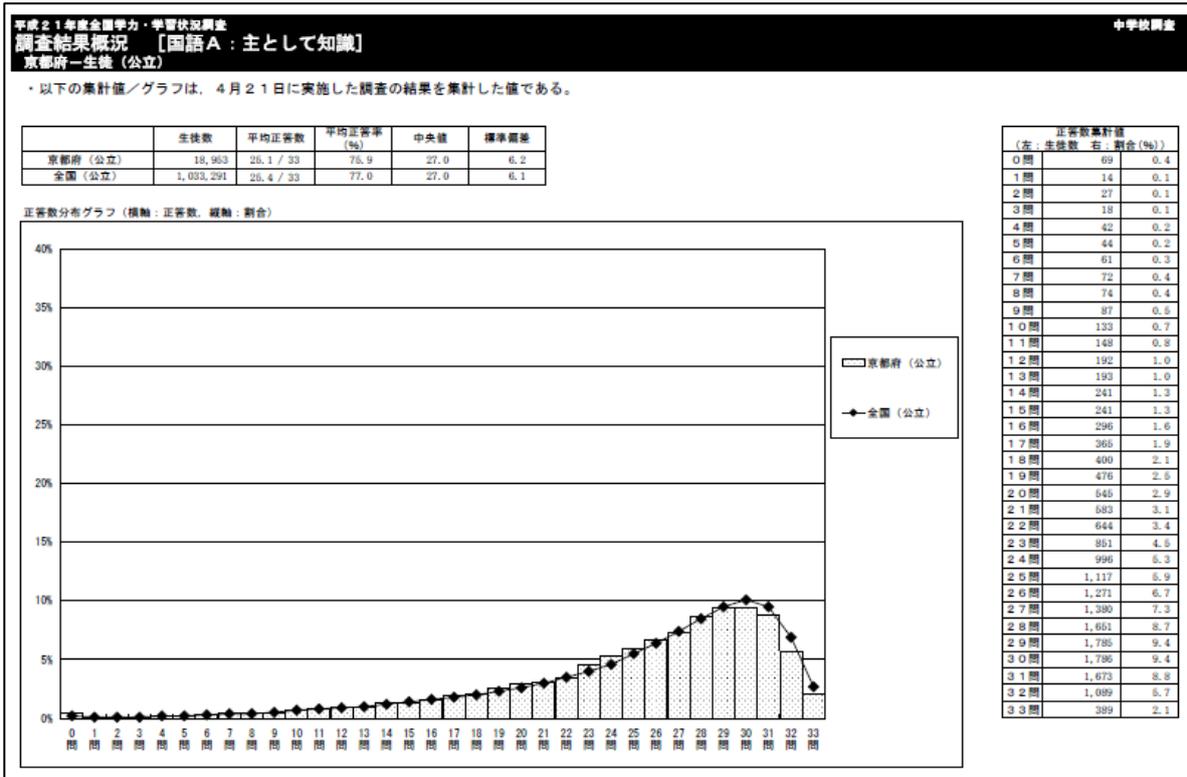
教科等	国語		数学	
	A知識	B活用	A知識	B活用
21年度	99.5	99.3	99.9	99.5
20年度	100.0	100.0	100.5	100.0
19年度	99.8	100.0	100.4	100.2

標準化した平均正答率とは  
平均正答率の推移を比較する  
ため、全国の平均正答率を100とし、標準化したもの。

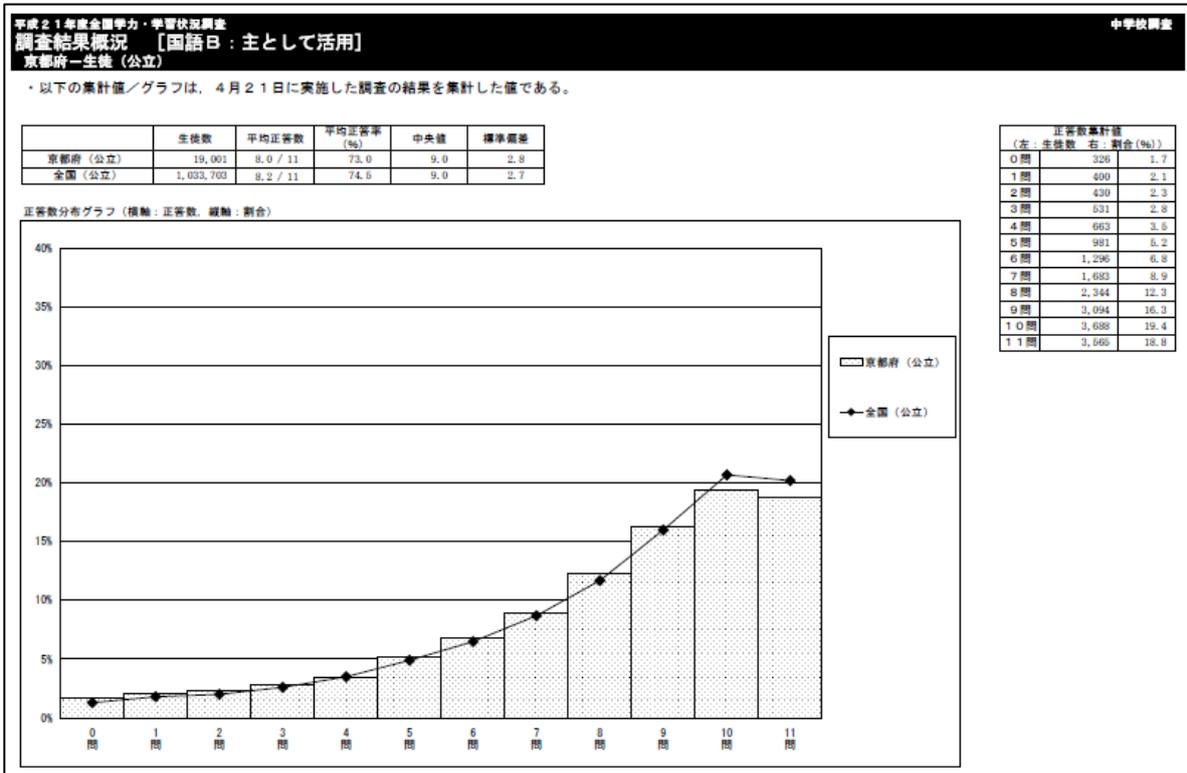
- 京都府の標準化した平均正答率は、100をやや下回っています。
- 標準化した平均正答率の推移は、3年間で±0.7の範囲内にあり、大きな変動はありません。

(4) 正答数の分布状況

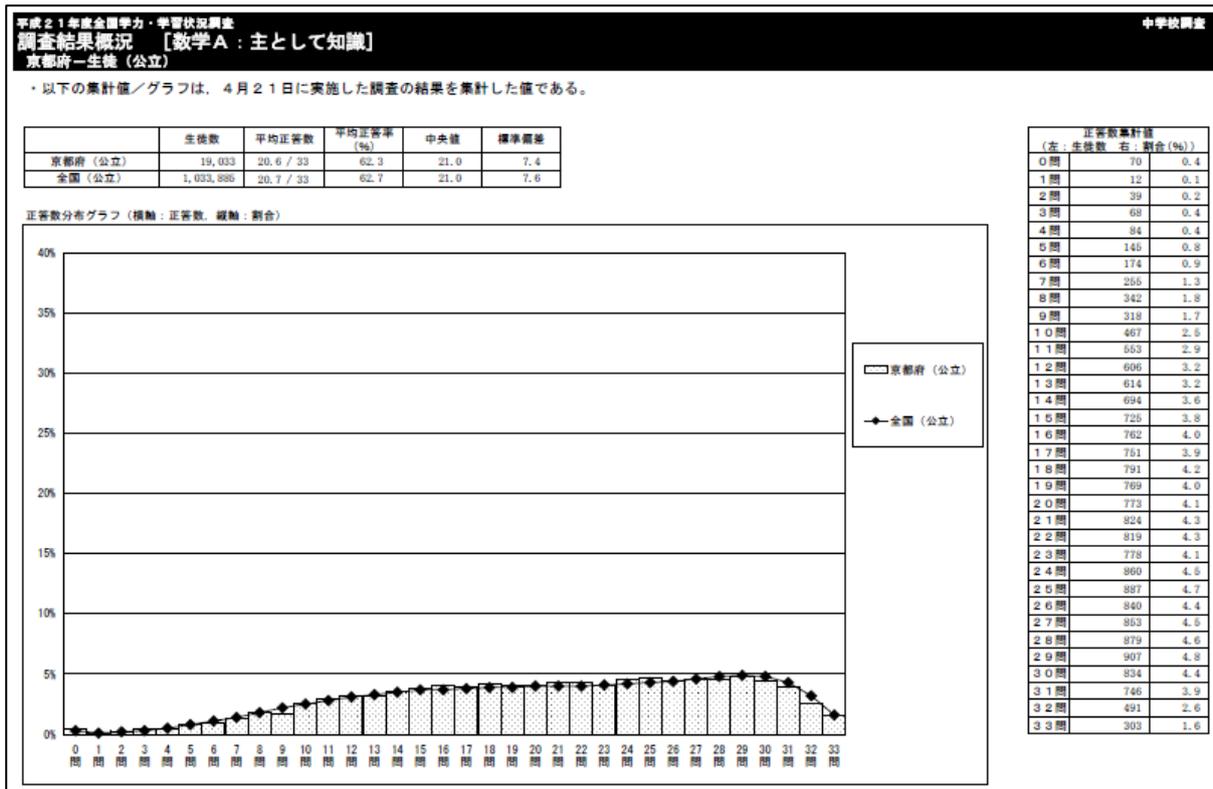
ア 国語A



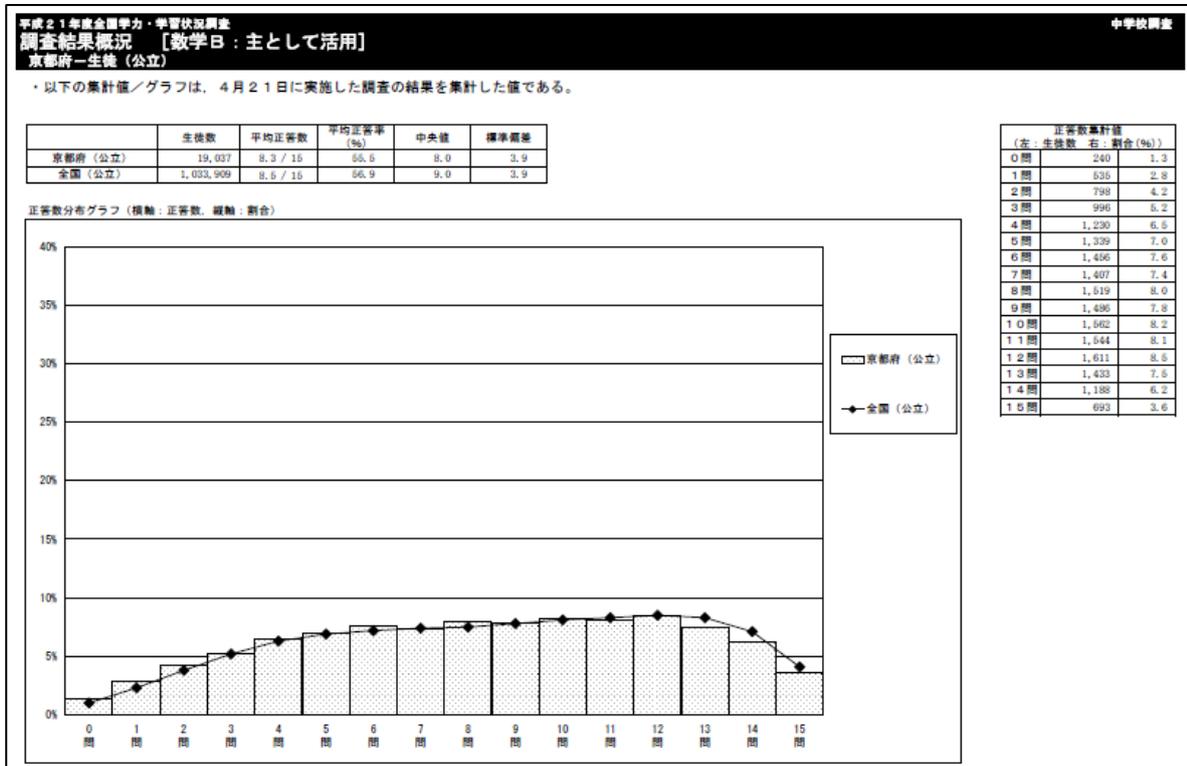
イ 国語B



## ウ 数学A



## エ 数学B



課題のある生徒の層が全国に比べてやや多く、正答数の多い生徒の層が全国に比べてやや少ない状況にあります。

### 3 教育局別の状況

#### (1) 平均正答率

- 府内各地域の状況を教育局別の平均正答率で示しています。
- 各教育局別の国語、算数・数学の平均正答率は、概ね全国水準を上回っています。

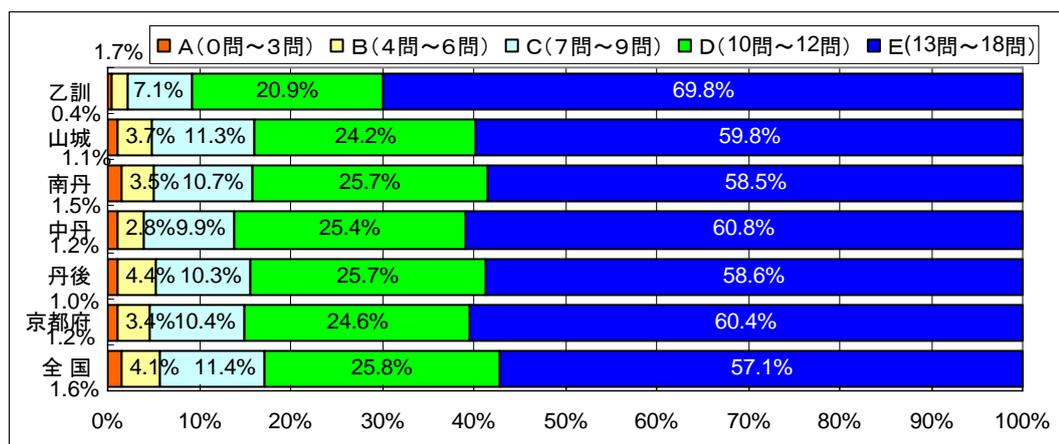
小学校	国語		算数		中学校	国語		数学	
	A「知識」	B「活用」	A「知識」	B「活用」		A「知識」	B「活用」	A「知識」	B「活用」
全国	69.9	50.5	78.7	54.8	全国	77.0	74.5	62.7	56.9
乙訓	76.2	58.0	85.6	61.8	乙訓	78.4	76.3	66.0	59.7
山城	71.3	51.6	83.2	56.6	山城	74.4	71.0	61.4	54.1
南丹	70.8	51.8	81.3	55.6	南丹	77.3	74.9	62.9	56.1
中丹	71.6	55.5	83.4	58.6	中丹	77.8	75.7	62.9	57.7
丹後	70.4	49.3	80.2	53.5	丹後	78.2	76.3	64.0	58.0

#### (2) 児童生徒の学力状況（正答数分布状況より）

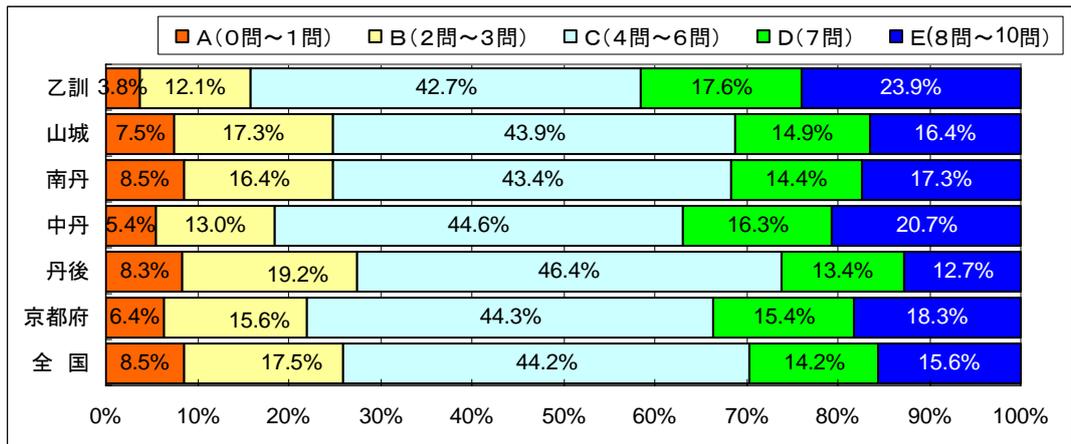
- 以下のグラフは、児童生徒をその正答数によりA層からE層までの5群に分け、それぞれの人数の比率を示したものです。
- 例えば国語Aは全18問の出題であり、その内平均正答率が90%以上の問題が4問あります。  
そこで正答数が0～3問の児童生徒をA層とし、以下同様に平均正答率が80%以上90未滿の問題が3問あるので、正答数が4～6問の児童生徒をB層というように、以下、平均正答率10%ごとにC、D、E層のグループ分けをしています。

#### ◆ 小学校第6学年正答数分布状況

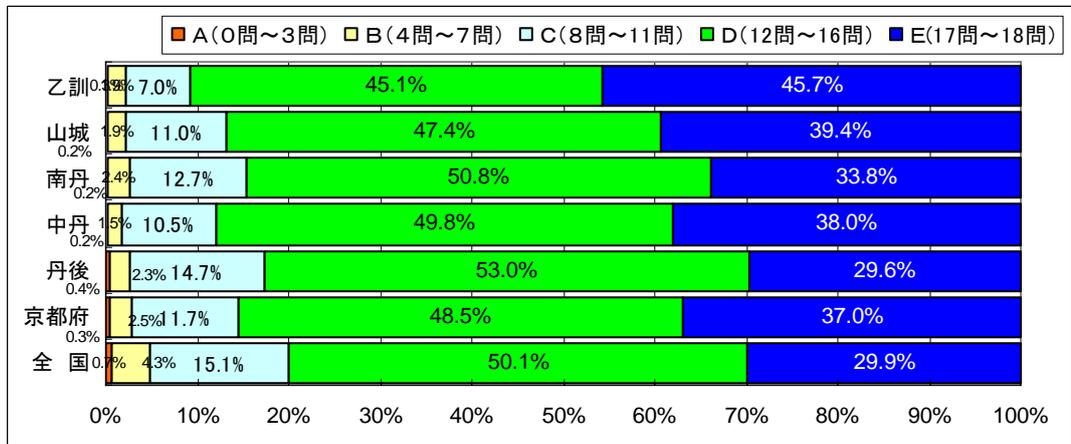
##### ア 国語A



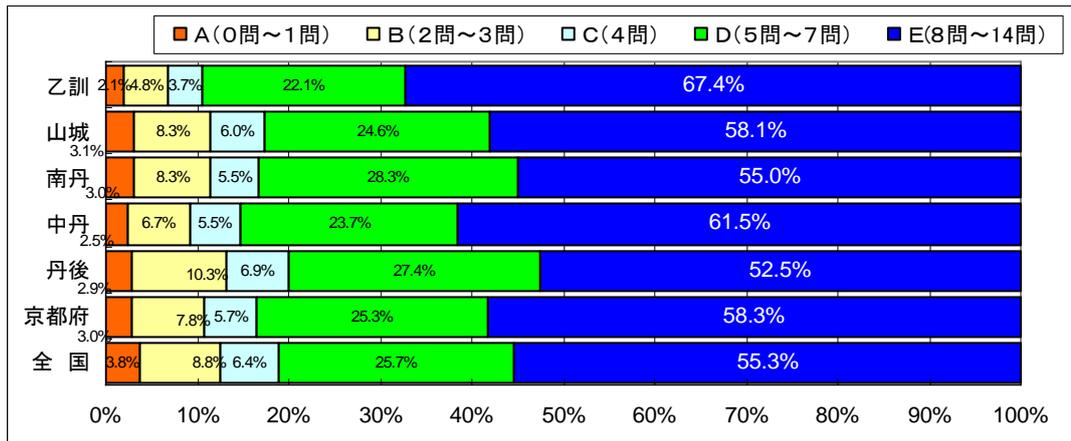
イ 国語B



ウ 算数A

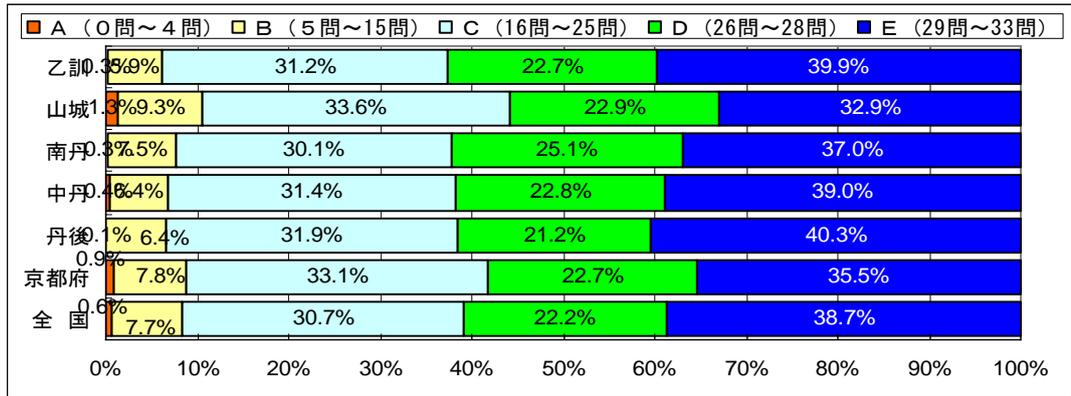


エ 算数B

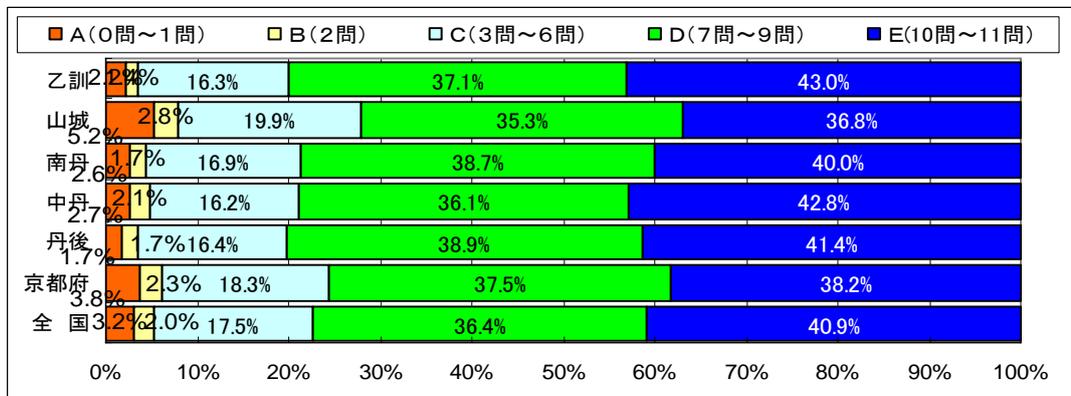


◆ 中学校第3学年正答数分布状況

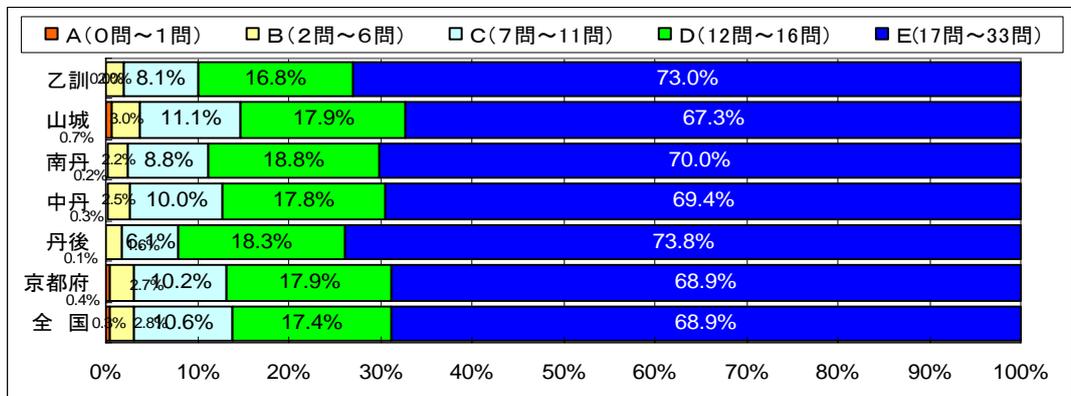
ア 国語A



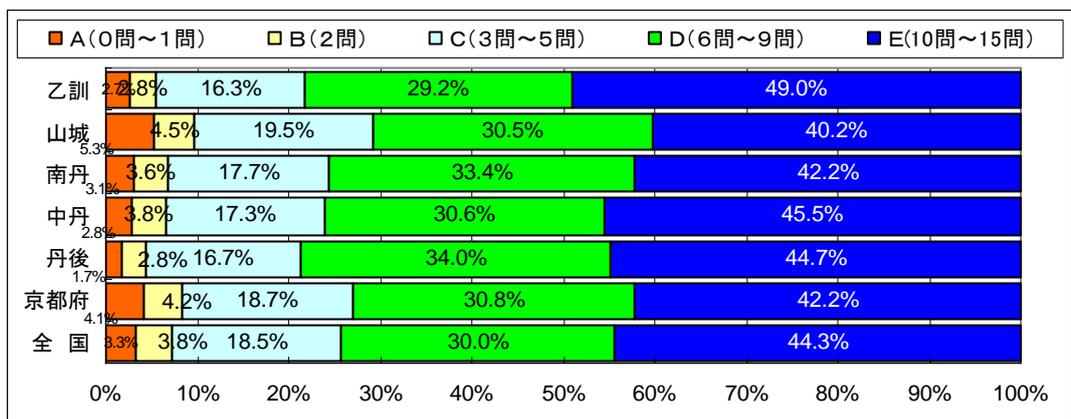
イ 国語B



ウ 数学A



エ 数学B



#### 4 教科に関する特徴的な調査問題

##### (1) 小学校国語

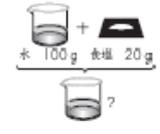
書くことに関する基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかを見る問題（国語A「知識」）です。文章を書く技能の基本として、内容に適した小見出しをとらえる力が問われています。

#### <調査問題 国語A>

【実験報告文の一部】

(1) 調べたこと  
水にとかした食塩の重さはどうなるかを調べた。

(2) **ア**  
① 水 100 gをはかりとる。  
② 食塩 20 gをはかりとる。  
③ 食塩 20 gを水 100 gに入れてとかし、できた食塩水の重さをはかる。



(3) **イ**  
食塩は、水にとけると重さがなくなってしまうので、食塩水全体の重さは、100 gになるのではないかと考えた。

(4) **ウ**

とかし前の重さ	とかし後の重さ
水 100 g	食塩水全体の重さ
食塩 20 g	
全体の重さ 120 g	

食塩を水にとかす前の全体の重さと、食塩を水にとかした後の食塩水全体の重さは、どちらも 120 g だった。

(5) 考えたこと  
食塩は、水にとけてもその重さはなくならないと考えた。

4 南田さんは、水にとかした食塩の重さについて実験をし、報告文を書きました。報告文 **ア**・**イ**・**ウ** の中に小見出しを書きます。小見出しとして最もふさわしいものを下の 1 から 3 までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

<b>ア</b>	1 目的	2 注意	3 方法
<b>イ</b>	1 準備	2 予想	3 条件
<b>ウ</b>	1 評価	2 結果	3 想像

設問	ア	イ	ウ
府平均正答率	85.9	95.2	94.6
全国平均正答率	86.1	94.7	93.9

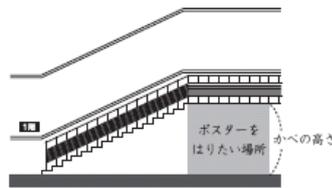
- ☆ 文章の内容に適した小見出しを選択させる設問です。
- ☆ 京都府の正答率は、85.9%～95.2%で相当数の児童ができています。
- ☆ 文章の内容に合わせて小見出しを考えさせる指導を一層充実させることが重要です。

##### (2) 小学校算数

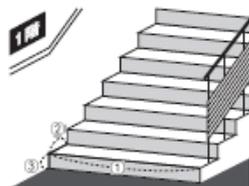
日常の事象を観察して図形を見だし、数理的にとらえて考えることができるかどうかを見る問題（算数B「活用」）です。図形、数と計算領域で身に付けた知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力が問われています。

#### <調査問題 算数B>

1 ゆうじさんの学校には、次の図のような階段があります。下の場所に、子どもまっぴりのポスターをはろうと思います。



上の図のかべの高さを知りたいので、階段を使って調べます。かべの高さを求めるためには、下のアからエまでのうち、どれが必要ですか。アからエまでの中から必要なものをすべて選んで、その記号を書きましょう。また、かべの高さを求める式を書きましょう。ただし、計算の答えを書く必要はありません。



<b>ア</b>	①の長さ	200 cm
<b>イ</b>	②の長さ	30 cm
<b>ウ</b>	③の長さ	14 cm
<b>エ</b>	階段の段数	15 段

府平均正答率	53.7%
全国平均正答率	51.1%

- ☆ 階段から図形を見だし、示された部分の長さを求めるために必要な情報を選択させる設問です。
- ☆ 京都府の正答率は、53.7%で、事象を観察して図形を見つけ、数値と結び付けて考えることに課題が見られます。
- ☆ 生活の中で数学的なものの見方を育てる指導を充実させていくことが必要です。

(3) 中学校国語

目的や意図に応じて資料から必要な情報を読み取り、考えたことを示された条件に即して書くことができるかどうかを見る問題（国語B「活用」）です。この問題では特に表現の工夫を自分の表現に役立てる力が問われています。

<調査問題 国語B>

1 図書委員の山田さんは、先生から紹介された本を借りるために近くの「子ども図書館」に出かけました。次の【子ども図書館案内図】を見ながら、あとの間に答えなさい。

**【子ども図書館案内図】**

**【学校図書館案内図】**

(三) 学校に戻った山田さんは、【子ども図書館 案内図】の工夫を学校図書館の案内図にも生かそうと考えました。

イ 受付カウンターの **B** には、どのような説明を書くのが適切ですか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

**条件1** 次の《受付カウンターの役割》をもとに書くこと。

《受付カウンターの役割》

- ・ 本を借りるための手続きができる。
- ・ 本を返すための手続きができる。
- ・ パソコンで学校図書館の本を探ることができる。

**条件2** 「貸し出し」、「返却」、「検索」ということばをすべて使うこと。

府平均正答率	75.6
全国平均正答率	76.6

- ☆ 資料に表れている工夫を2つの条件に従って記述させる設問です。
- ☆ 京都府の正答率は、7割を超えていますが、すべての条件を満たして書くことに課題が見られます。
- ☆ 案内やパンフレットなど資料の特性を自分の表現に活用する場面を設定した指導の充実が必要です。

(4) 中学校数学

数と式に関する基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかを見る問題（数学A「知識」）です。指数の意味や計算の順序などを理解した上で、計算過程を説明できる力が問われています。

<調査問題 数学A>

1

(2)  $2 \times (-3^2)$  の計算で、 $(-3^2)$  の部分はどのように計算しますか。下のアからオまでの中から正しいものを1つ選びなさい。

ア  $(-3) \times (-3)$

イ  $-(3 \times 3)$

ウ  $-(3 \times 2)$

エ  $+(3 \times 3)$

オ  $+(3 \times 2)$

府平均正答率	79.1%
全国平均正答率	75.7%

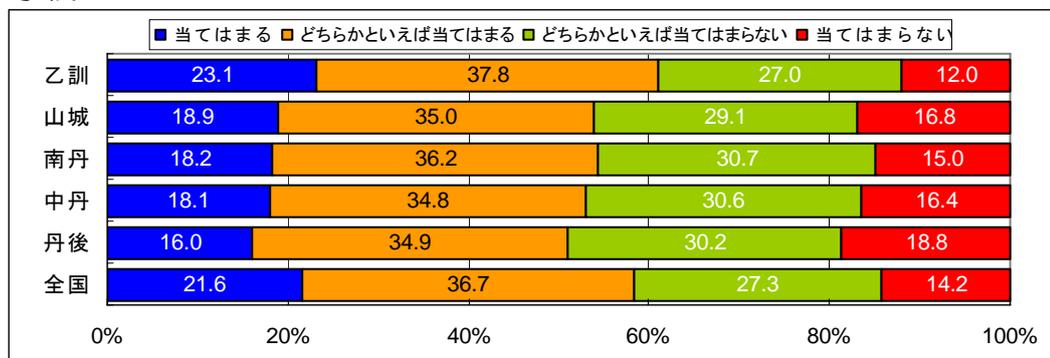
- ☆ 指数を含む正の数と負の数の計算で、正しい指数の計算の仕方を選択させる設問です。
- ☆ 京都府の正答率は、全国平均を3.4ポイント上回り、おおむね定着していますが、一層の充実が必要です。
- ☆ 誤りのある計算例を取り上げてその誤りを指摘し合うことなどで、計算方法を確実に理解させることが重要です。

### Ⅲ 児童生徒質問紙調査結果の概要

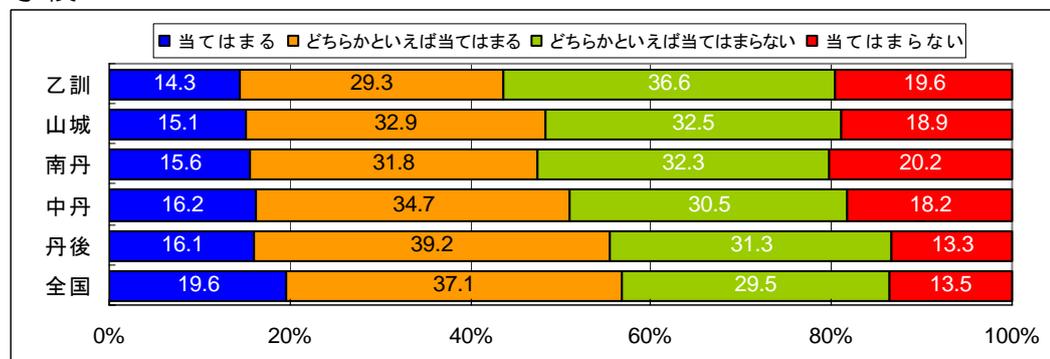
#### 1 学習に対する関心・意欲

Q 国語の勉強は好きですか。

##### ◆小学校

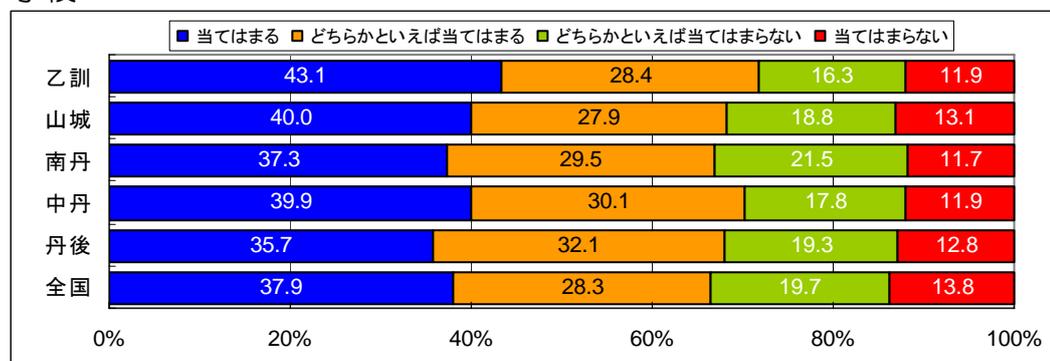


##### ◆中学校

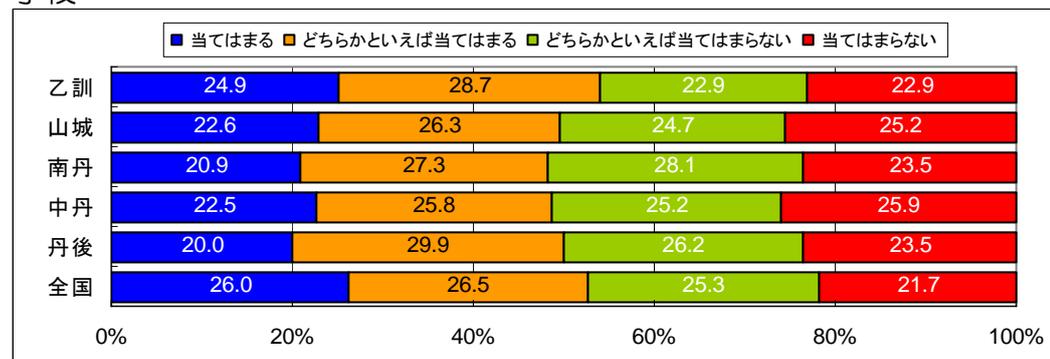


Q 算数・数学の勉強は好きですか。

##### ◆小学校



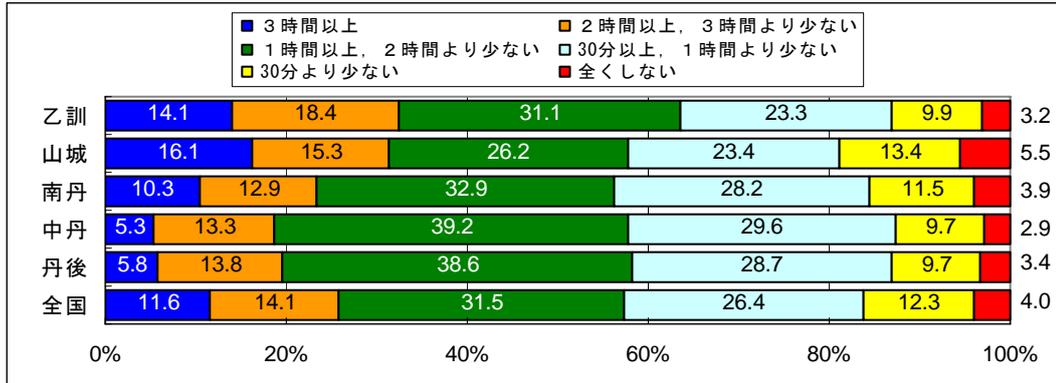
##### ◆中学校



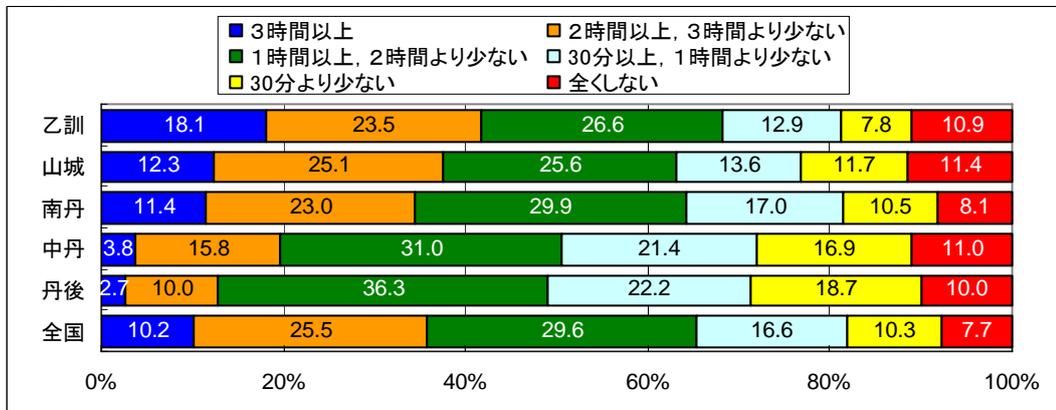
## 2 学習習慣

Q 学校の授業時間以外に、普段1日あたりどれぐらいの時間勉強しますか。

### ◆小学校



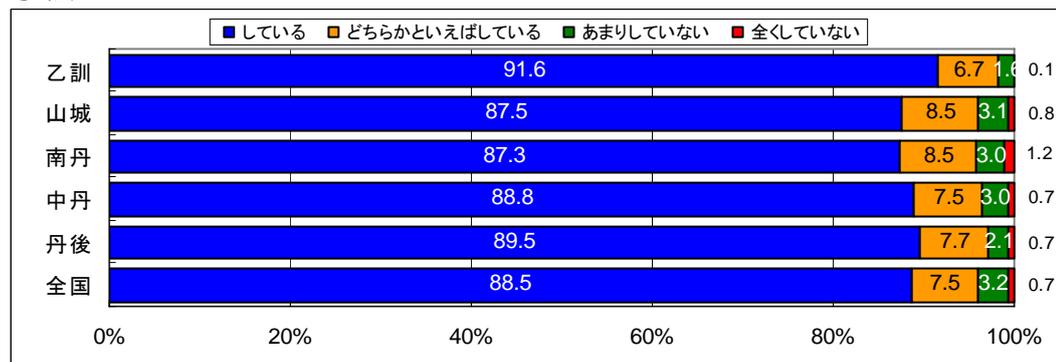
### ◆中学校



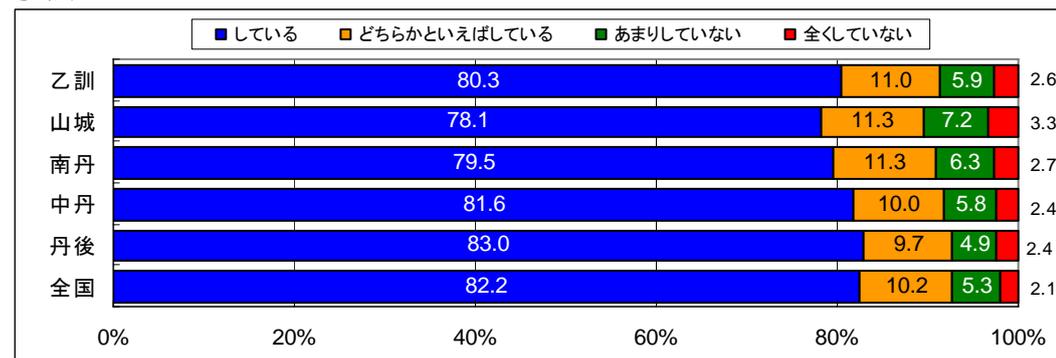
## 3 基本的生活習慣

Q 朝食を毎日食べていますか。

### ◆小学校

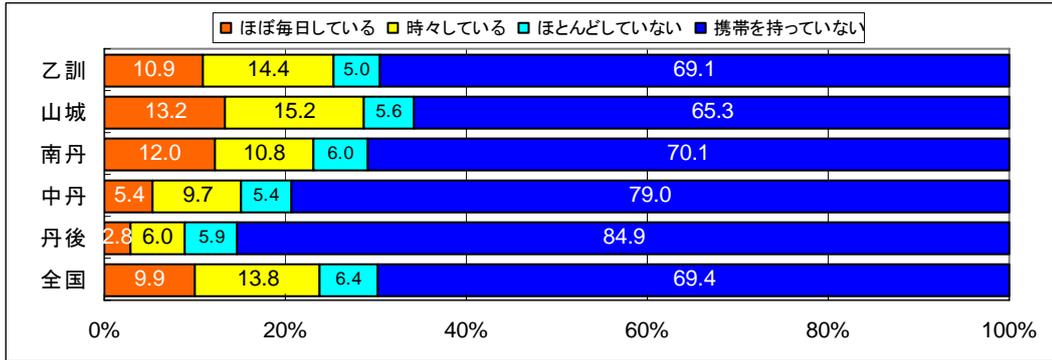


### ◆中学校

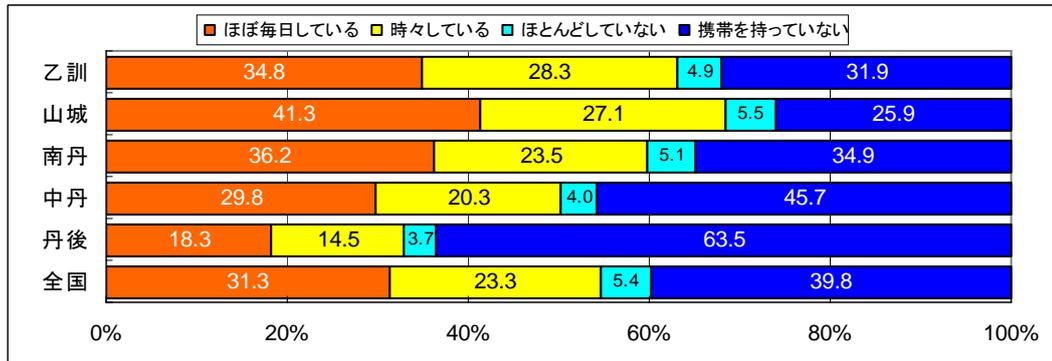


Q 携帯電話で通話やメールをしますか。

◆小学校



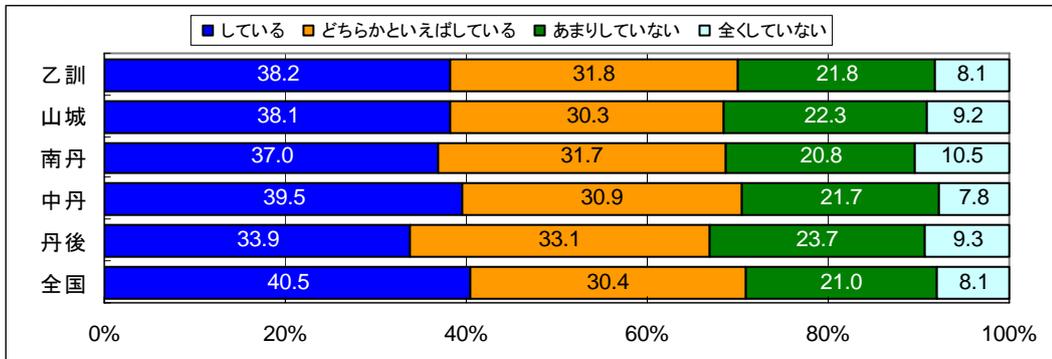
◆中学校



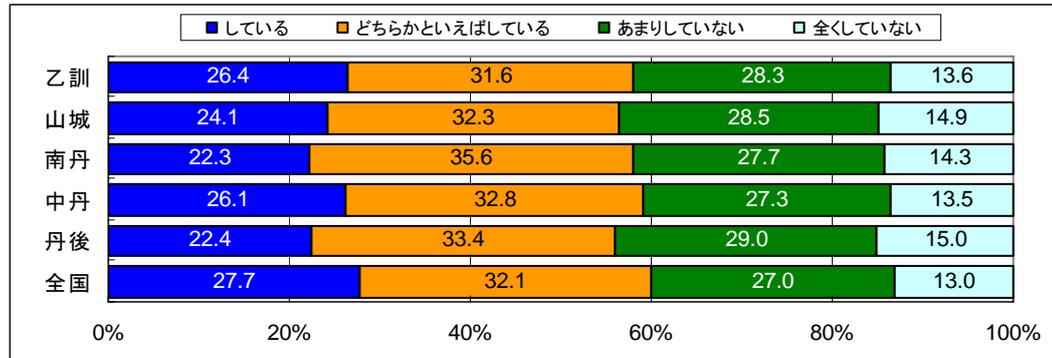
4 家庭でのコミュニケーション

Q 家の人と学校での出来事について話していますか。

◆小学校



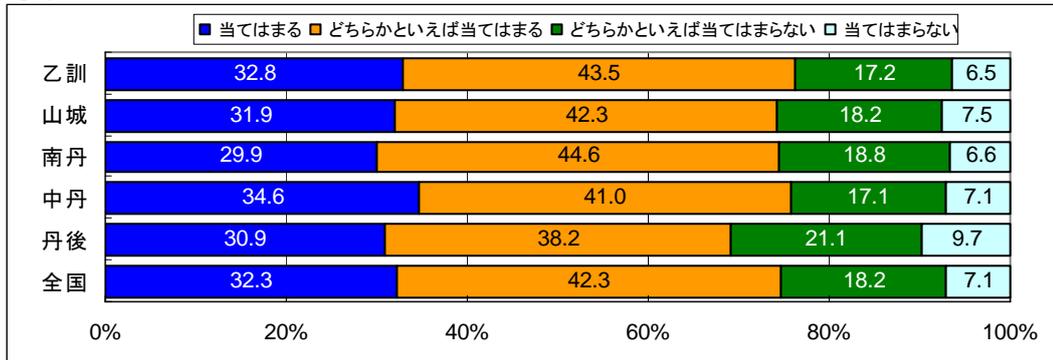
◆中学校



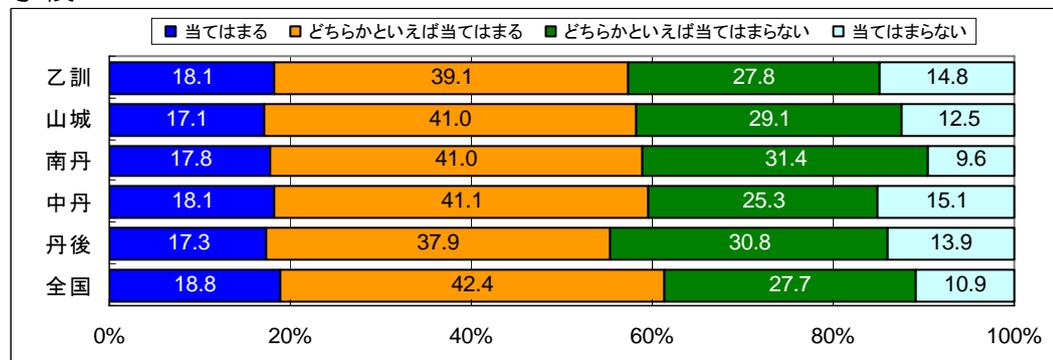
## 5 自尊意識

Q 自分によいところがありますか。

### ◆小学校



### ◆中学校

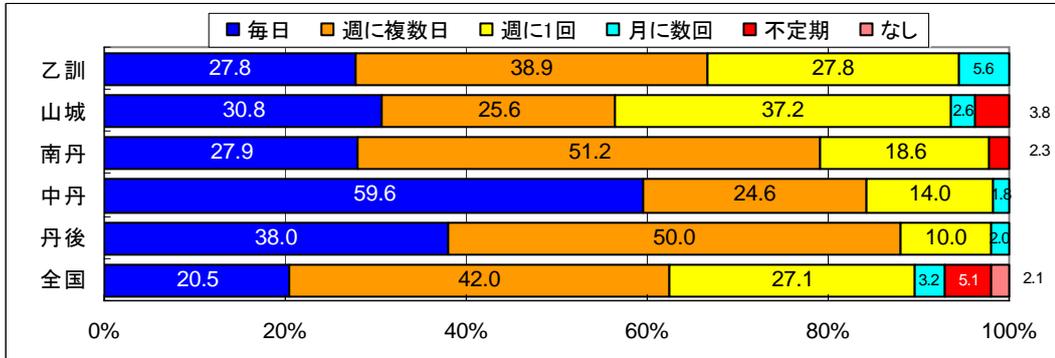


#### IV 学校質問紙調査結果の概要

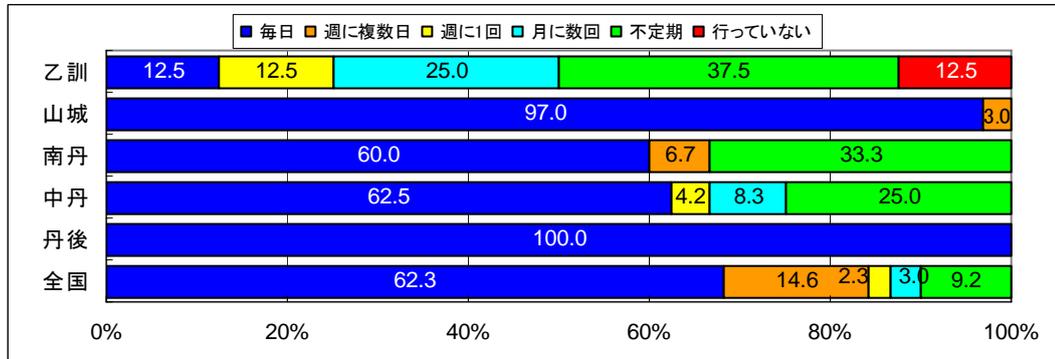
##### 1 学習環境

Q 朝の読書などの一斉読書の時間を設けていますか。

###### ◆小学校

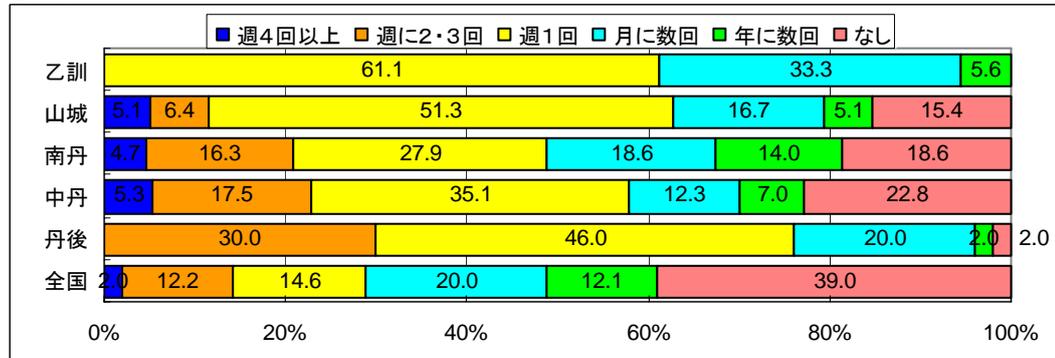


###### ◆中学校

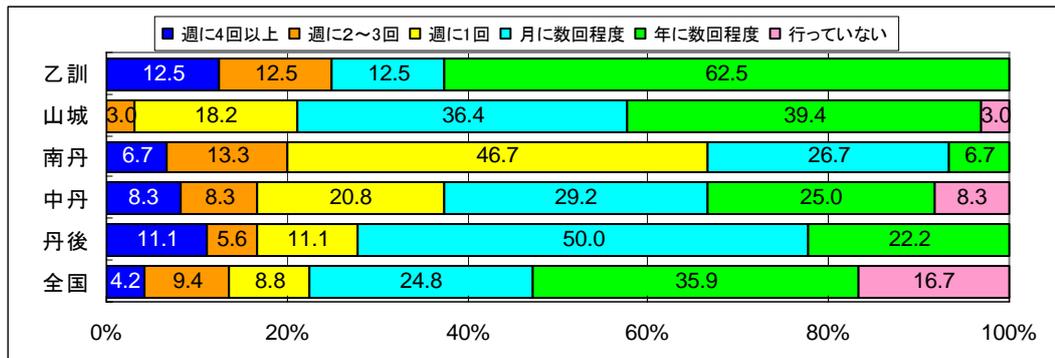


Q 放課後を利用した補足的な学習サポートを実施していますか。

###### ◆小学校

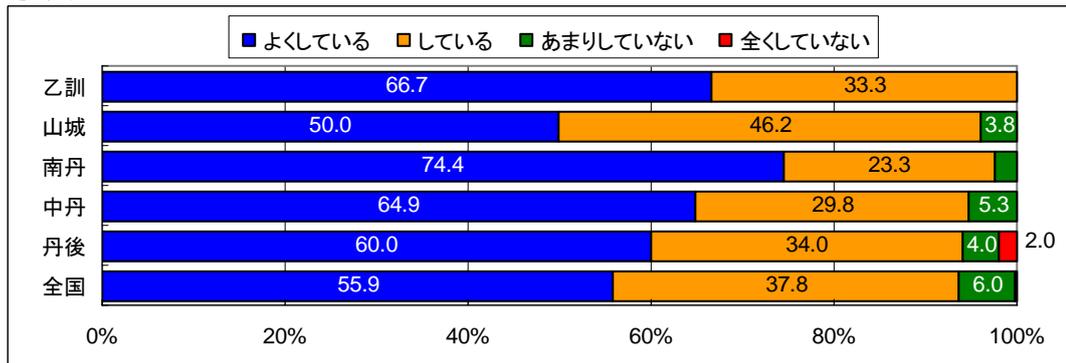


###### ◆中学校

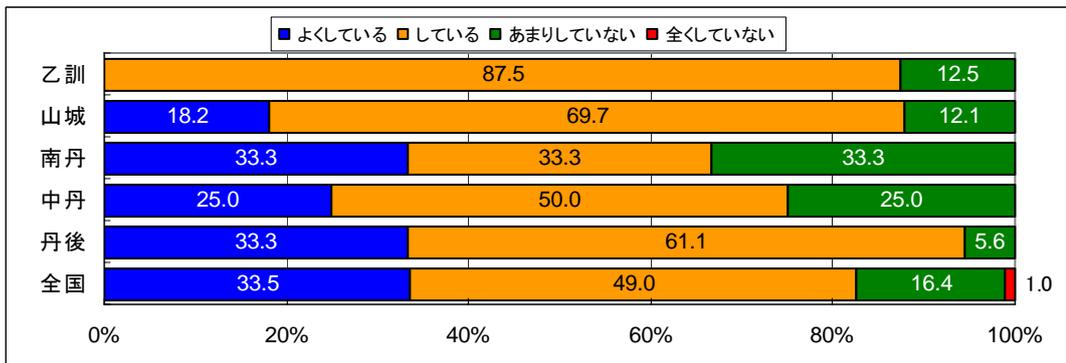


Q 模擬授業や事例研究など，実践的な研修を行っていますか。

◆小学校



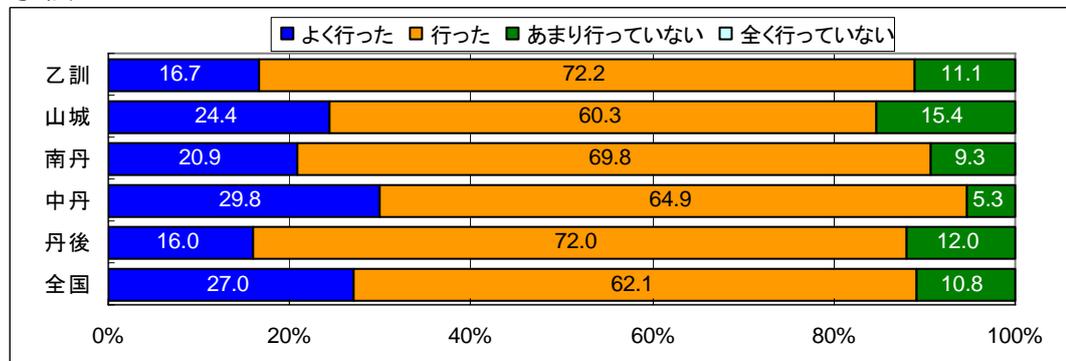
◆中学校



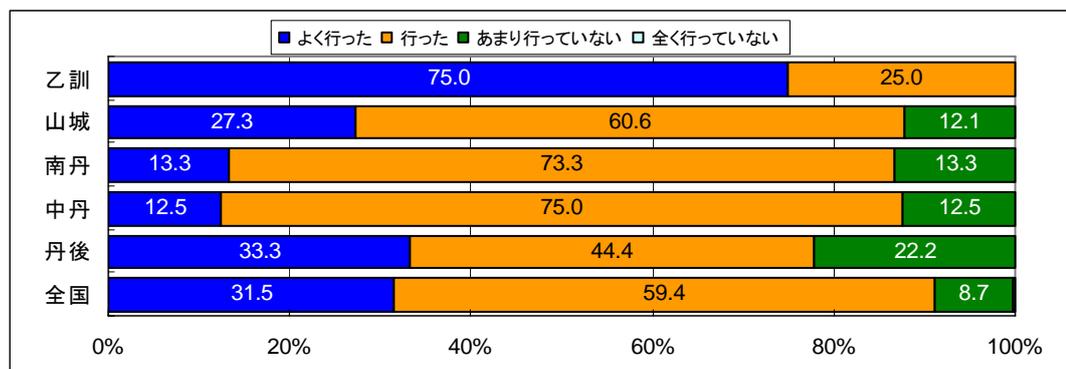
2 教科指導

Q 国語の指導として，書く習慣を付ける授業を行いましたか。

◆小学校

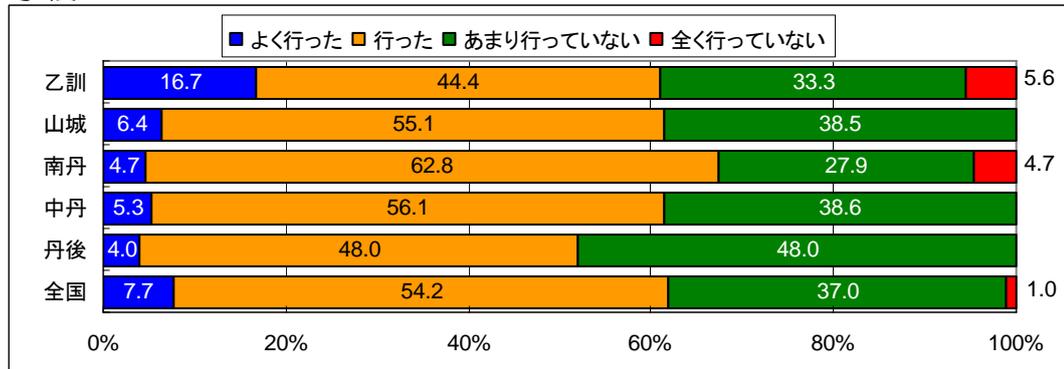


◆中学校



Q 算数・数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか。

◆小学校



◆中学校

